

くろつち便り

新人を迎える会

内容：浦島悦子講演会(3/3)／脱原発集会(3/12)／
共助会グラウンドゴルフ大会(2/12)／野草折々／
退職者を励まし送る会(2/25)／くろつち会総会
護憲－意見広告／労金グラウンドゴルフ大会

2月25日、支部主催の「退職者を励まし送る会(以下、励ます会)」がありました。

今年は13名の組合員が退職されるそうです。うちこの日の「励ます会」には5名参加してくれましたが、他の用事で参加できなかった天野健さんら殆どの方も、退教協や退女教に参加して、共に活動して下さるそうです。



中野真由美さん(高山中)

今年退職の大山高枝さんとは、少女の頃からずっと同じクラスで、就職の年も同じで、退職もいつしよです。



挨拶代わりに、中野さん・大山さん、お二人でのクラシック音楽の演奏が面白い趣向でした。

大山高枝さん(伊崎田中)
退職後は嵯良市の方で生活します。



長崎雄二さん(第一鹿屋中)

有明中時代、飲み方など破天荒な生活でした。最後の年にやっと本来の美術を担当できました。これからは好きな絵を描きたいです。



迫田弘昭さん(内之浦小)
肝属ではいろんなことを学ばせてもらいました。



福永一文さん(下名小)

後ろの(くろつちの)席を見て緊張しています。四月からあそこに坐るのかな。内園さんの「高山は大変なところ」「鹿屋は大変なところ」という一言で変わりました。



現職の側からすると「送る会」かも知れませんが、くろつち側からすると「(新人を)迎える会」になります。大幅な組織拡大で、くろつちも賑やかになりそうです。



九条を守ろう - 意見広告募集

某幼稚園で子ども達に戦争法を礼賛させたり「安倍首相がんばれ」などと言わせている報道が流れました。世間の猛反発を尻目に、政府・自民党はこの事案に蓋をしようと躍起に見えます。

今年も5月3日の南日本新聞に、九条改

憲に反対する意見広告を掲載すべく、取組中です。

募金額 個人1口1,000円以上です。

締切日 4月14日(金)

申込先 松下徳二 鹿屋市旭原町2538-9
Tel 44-9687(携帯090-1923-7306)

安倍の野望を打ち破るためにも、意見広告を成功させたいです。

野草折々-3-

サツマイナモリ（アカネ科）

飯山春男さんに身近な植物を紹介して頂いています。

3回目はサツマイナモリです。



渓谷の早春に真っ先に白い花を咲かせる。合弁花で先の方が5裂し、花びらの内側に多数の毛が生えている。花が咲き群生している様は雪化粧したようで、息をのむような美しさである。

渓谷は イナモリソウで 雪化粧
写真は 2017年2月1日 高隈渓谷で撮影

共助会第12回 グラウンドゴルフ大会

事務局 矢野努

延期にしないとイケないかなと気をもんだ天候も、2月12日（日）は晴れ間も出る天候に恵まれ、無事予定通り実施することができました。岩田都詩夫実行委員の明快な競技上の注意が行われた後、飯山春男実行委

員長の笛の合図で競技が始まりました。やや冷たい風の吹く中、ベテランや年に1回か2回のみという初心者ともども和やかな大会になったのではないかと思います。この時期はボールの転がり良すぎて、かげんの仕方に四苦八苦する人が多かったのではないのでしょうか。そんな中、やはりベテラン

の方々は本当にうまかったですね。

また来年もみなさんお元気で参加してくださいませようお願いします。

大会結果

優勝	山口玲子さん
準優勝	愛甲優子さん
3位	堀苑明久さん
4位	上山四朗さん
5位	山口伸也さん
ブービー賞	福留タツさん

「血管を破らない



ように・・・」
と挨拶する飯山実行委員長



労金友の会グラウンドゴルフ大会

参加者募集中

期日 3月22日（水） 雨天順延 23日（木） 8：30 受け付け開始
場所 鹿屋グラウンドゴルフ場 C・Dコース
申込 直接内俊朗へ 43-9464 3月20日まで



浦島悦子講演

3月3日(金)、沖縄在住の浦島悦子さんが来られて、沖縄の現状を話してくださいました。

沖縄現地報告会

会場 鹿屋市中央公民館

主催 2017国際女性デー

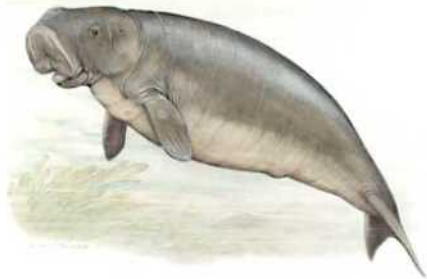
& 沖縄現地報告会 実行委員会

浦島さんは、薩摩川内市のご出身だそうです。レジュメにある自己紹介の欄には、次のように書かれています。

「鹿兒島18年、沖縄27年。辺野古の基地問題にかかわって20年。

沖縄に住み始めて感じたこと；自然破壊(基地問題と密接にかかわっている)、米軍基地がもたらす人権侵害(命まで脅かされる。女性への性暴力、身体的・精神的被害)、沖縄社会のひずみ(子どもの貧困(日本一)、離婚率の高さ(日本一)、夜型社会、経済のいびつさ…)」

国の天然記念物であるジュゴンというほ乳類は、昔は沖縄県内各地の海岸で多く見られたけど、自然破壊



や乱獲などで徐々に数を減らし、絶滅したと思われていたそうです。それが最近になって生息が確認されたということは、よく知られていますが、それでも今では滅多に見られることのない幻の生き物になっているそうです。

そのジュゴンの大事な生息地が、埋め立てが進められている大浦湾です。

大浦湾は、ハマサンゴやアオサンゴの群落があり、藻も多い。絵を見れば分かるように、ジュゴンの鼻は潰れたようになっていて、藻を採りやすいようになっています。実際、ジュゴンの食み跡が、大浦湾で数百



本見つかっているそうです。

大浦湾は奥の深い湾で、湾を埋め立てるということは、山川海の連続性を立ち切り、サンゴを死に追いやり、ひいてはジュゴンの採食場所を奪うということです。ジュゴンは数種類の藻しか食べないそうなので、絶滅は必死です。

「大浦湾は地域住民の母なる海」

「ジュゴンは大浦湾の自然の象徴であり、ジュゴンが生きられる環境を守ることは、自分自身を守ることである」

「沖縄だけの力では守れない。沖縄だけの問題ではなく、全国一人一人の問題です」ということを力説されました。

(辺野古埋め立て問題は、私たち大隅半島に暮らす者にとって、人ごとではありません。辺塚碎石-高レベル放射能廃棄物埋め立て問題と深く関わっています。くろつち便り1月号に松下徳二さんの寄稿文がありますので、参照してください)

当面の手配 くろつち会総会&歓迎会

日時 4月30日(日) 10時受付
10:00 受付 10:30 開会

会場 千成本店

歓迎会 12:00~15:00

会費 3000円

○次回金曜集会

4月7日(金) 17:00~
北田交差点

(3月は、浦島さんの講演や熊本での裁判があったりできませんでした。)

○労金友の会グラウンドゴルフ大会

3月22日(水)

○県退教協学習会(日置)

6月15・16日

福島を忘れない！ 「ストップ川内原発！ 3・12かごしまパレード」



2011年3月11日、東日本大地震、そして3月12日、福島原発メルトダウン、あれから6年になるんですね。

鹿児島中央駅広場で、表題の集会がありました。県内各地から1300人が集結して、脱原発を訴えました。

(←開会前、犠牲者への黙祷)

集会アピールに、様々な問題が集約されていますので、その一部を紹介します。



2011年3月11日、東日本大地震発生。これを引き金に、東京電力福島第一原子力発電所の原子炉建屋が次々に爆発、メルトダウンを引き起こした。世原有数の火山・地震国でありながら、54基もの原発を狭い国土に並べる傲慢に鉄槌が下る。

福島の悲劇はこうして始まった。そして6年が経つ。原発事故の傷は癒えたのか。故郷を奪われた人々の怒りはおさまったのか。(中略)

溜まる一方の汚染水。 どうしたらいいか。すべてが未知の分野。

恥知らずにも、復興ムードの大宣伝。

オリンピックを持ち出しても私たちは騙されない。福島を決して忘れない。

原発事故の教訓を学ばない利潤追求第一の原発利益共同体。これを支え主導する政治家たち。

故郷を奪う者たちとの闘いに退路はない。福島の教訓は私たちの側にある。

鹿児島を第二の福島としてはならない。私たちは福島と共に闘う！

(以上)

(原口かつ子さんは県内各地からのリレートークで、壇上から南大隅町に最終処分場が作られる恐れがあると訴えました。右→)



集会の後、天文館、いづろ通りまでパレードがありました。



甲状腺ガンの恐怖に晒される子どもたち。悪性ガンと、その疑いが強いと診断された子どもの数が180人を越える。(中略)

2017年3月11日、事故から6年が経った。メルトダウンした核燃料の行方がいまだ分からない。たとえ分かっても取り出す手段が分からない。

